

著者紹介

有田 正剛

京都大学大学院理学研究科数学専攻修了，中央大学大学院理工学研究科情報工学専攻修了，博士（工学），日本電気（株）インターネットシステム研究所主任研究員を経て，2004年4月情報セキュリティ大学院大学教授に就任。

石畑 清（正会員）

1974年東京大学理学部物理学卒業，東京大学を経て，明治大学理工学部助教授，言語を中心として，プログラミング全般に興味を持つ。

板倉 征男（正会員）

1966年東京工業大学大学院電子工学専攻修士課程修了，（株）NTTデータ，NTTデータテクノロジ（株）などをを経て現在情報セキュリティ大学院大学教授，博士（工学），中央大学研究開発機構客員研究員，（株）NTTデータユニバーシティ顧問。

今井 秀樹（正会員）

東京大学教授（生産技術研），昭和46年東京大学大学院博士課程修了，工学博士，横浜国立大学を経て，平成2年より現職，暗号と情報セキュリティなどの研究に従事，著書「情報理論」「符号理論」など，IEEE，電子情報通信学会フェロー，暗号技術検討会座長。

E-mail:imai@iis.u-tokyo.ac.jp

http://imailab-www.iis.u-tokyo.ac.jp/

岩下 直行

日本銀行金融研究所企画役（情報技術研究担当総括），1994年より，金融分野で利用される情報セキュリティ技術の研究に従事，金融技術の国際標準化を行うISO/TC 68国内委員会の事務局を務める。

内山 成憲

1991年九州大学理学部数学科卒業，1993年同大学院修士課程修了，1996年同大学院博士後期課程修了，同年日本電信電話（株）入社，以来，情報セキュリティの研究・開発に従事，2000～01年米国南カリフォルニア大学客員研究員，現在，NTT情報流通プラットフォーム研究所研究主任，博士（数理学）。

占部浩一郎

1982年通商産業省入省，2000～04年6月まで，CICCシンガポール（JETROシンガポール）に赴任，アジアに対するIT協力，IT動向の調査などを担当。

大熊 建司（正会員）

（株）東芝研究開発センター主任研究員，理学博士，2004年4月より（独）IPAに在籍中，専門は共通鍵暗号を中心とする暗号理論，著書「情報セキュリティ事典」（共立出版），日本物理学会会員。

大山 永昭

1982年東京工業大学大学院総合理工学研究科物理情報工学専攻修士課程修了，1983年同大工学部附属画像情報工学研究施設助手，1988年同助教授を経て，1993年教授となり，2000年同大フロンティア創造共同研究センター情報系研究機能教授となり現在に至る，専門分野は医用画像工学，光情報処理，工学博士。

尾形わかは

東京工業大学理工学研究センター助教授，1995年姫路工業大学情報工学助教授，2000年より現職，暗号プロトコルの構築や安全性評価，著書「現代暗号の基礎数理」（電子情報通信学会編），電子情報通信学会会員，http://www.crypt.ss.titech.ac.jp/~wakaha/indexj.html

岡本 栄司（正会員）

1978年東京工業大学大学院電子工学専攻修士課程修了，工学博士，同年日本電気（株）中央研究所入社，その後，北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科，東邦大学（兼ウィスコンシン大学）を経て2002年より筑波大学システム情報工学研究科教授，現在に至る，グラフ理論，通信理論，数値計画，アルゴリズム，情報セキュリティをはじめとする情報数理工学の教育・研究に従事，1990年電子通信学会論文賞，1993年本会Best Author賞受賞，著書「暗号理論入門」（共立出版），「電子マネー」（岩波書店）など，IEEE，ACM，電子情報通信学会，情報理論とその応用学会，日本セキュリティ・マネージメント学会，IACR各会員，IJIS編集長，IEEE Information Theory Society of the Associate Editor。

岡本 龍明（正会員）

1976年東京大学工学部計数工学科卒業，1978年同大学院修士課程修了，同年日本電信電話公社に入社，1989～90年カナダWaterloo大学客員助教授，1994～95年米国AT&T Bell Laboratories客員研究員，現在，NTT情報流通プラットフォーム研究所主席研究員，フェロー，京都大学大学院情報学研究科客員教授，工学博士，電子情報通信学会業績賞，小林記念特別賞，電気通信普及財団賞，科学技術庁長官賞受賞，著書「暗号・ゼロ知識証明・数論」（共立出版），「現代暗号」（産業図書），「暗号と情報セキュリティ」（日経BP社）など。

小口 正人（正会員）

お茶の水女子大学理学部情報科学科助教授，1995年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了，工学博士，ネットワークコンピュータインテグレーション・ミドルウェアに関する研究に従事，IEEE，ACM，電子情報通信学会各会員。

笠原 正雄（正会員）

1965年大阪大学大学院博士課程修了，工学博士，同大助教授，京都工芸繊維大学教授を経て，2000年大阪大学大学院情報学部教授，この間ベル研究所研究員歴任，情報セキュリティ，技術倫理等の研究に従事，IEEEライフフェロー，電子情報通信学会フェロー。

金子 敏信（正会員）

東京理科大学教授，1949年生，昭和46年東京大学工学部卒業，昭和51年同大学院修了，工学博士，暗号理論に関する研究，著書「誤り訂正符号とその応用」他，電子情報通信学会など各会員。

神田 雅透

1993年東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了，同年日本電信電話（株）入社，2002年横浜国立大学大学院工学研究科博士課程修了，現在，NTT情報流通プラットフォーム研究所主任研究員，電子情報通信学会会員，E-mail:kanda.masayuki@lab.ntt.co.jp

木村 泉（正会員）

中央大学情報科学部教授，認知科学科所属，1960年東京大学理学部物理学卒業，そこで初期のコンピュータに出会った，以来計算機科学の諸領域をめぐり，HCIとソフトウェア工学を通じて認知科学にも興味を持つようになった，IEEE，日本認知科学会など各会員。

黒澤 馨

茨城大学工学部教授，1997年東京工業大学工学部教授，2001年より現職，現在の主たる研究テーマは現代暗号理論，著書「現代暗号の基礎数理」他，電子情報通信学会，IEEE，IACR，情報理論とその応用学会各会員，http://kuro.cis.ibaraki.ac.jp/~kurosawa/KuroIwa.htm

胡 振江（正会員）

1966年生，1988年中国上海交通大学計算機科学系卒業，1996年東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻修士課程修了，日本学術振興会特別研究員を経て，1997年東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻助手，同年同専攻講師，2000年同専攻助教授，2001年度より東京大学大学院情報理工学研究科助教授，同年より科学技術振興事業団さきがけ21研究者を兼任，工学博士，関数プログラミング，プログラム変換，アルゴリズムの導出，並列プログラミングなどに興味を持つ。

佐々木良一（正会員）

昭和46年東京大学卒業，同年日立製作所研究所，セキュリティ技術等の研究開発に従事，平成13年より現職，工学博士，著書「インターネットセキュリティ入門」（1999，岩波新書），など，本会理事，フェロー。

佐藤 証

現在，日本アイ・ビー・エム（株）東京基礎研究所主任研究員，1989年早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了，同年日本アイ・ビー・エム（株）入社，1999年早稲田大学より博士号（工学）授与，符号理論と暗号理論およびそれらを応用した高速回路の研究開発に従事，電子情報通信学会会員。

E-mail:akashi@jp.ibm.com

下山 武司

工学博士，富士通研究所研究員，CRYPTREC暗号技術監視委員会調査WG委員，1991年富士通研究所入社，2000年学位取得，主研究テーマは暗号理論，著書「情報セキュリティ」（昭晃堂）。

宝木 和夫（正会員）

日立製作所システム開発研究所主管研究員，工学博士，ISO/IEC SC 27（セキュリティ）専門委員会委員長，1977年日立製作所入社，1985年学位取得，情報セキュリティ技術の研究開発に従事，著書「ファイアウォール」（昭晃堂）など，IEEEなど各会員。

http://www.sdl.hitachi.co.jp

趙 晋輝

昭和63年東京工業大学工学部電気電子博士課程修了，工学博士，平成元年同大助手，平成4年中央大学助教授，平成8年同大教授，平成11年Harvard大学客員研究員，昭和63年，平成2年電子情報通信学会論文賞，平成元年篠原記念学術奨励賞各受賞。

角尾 幸保（正会員）

NECインターネットシステム研究所主席研究員，工学博士，CRYPTREC暗号技術監視委員会調査WG委員，共通鍵暗号の設計・評価技術の研究に従事，著書「暗号のすべて」（電波新聞社），電子情報通信学会会員。

鳥居 宏次（正会員）

1967年大阪大学工学部博士課程修了，同年電子技術総合研究所入所，1984年大阪大学教授，1991年奈良先端科学技術大学院大学教授，2001年より同学長，専門分野はソフトウェア工学，本会フェロー。

仲谷 善雄（正会員）

立命館大学情報理工学部教授，1981年大阪大学人間科学部（社会心理学）卒業，同年三菱電機（株）入社，中央研究所，産業システム研究所にて人工知能，ヒューマンインタフェース技術などの研究開発に従事，1991～92年米国スタンフォード大学言語情報研究センター客員研究員，1998年（株）ドーシスに出向，ITS（高度道路交通システム）の検討に従事，2001年に出向解除，道路・河川・港湾のIT化や防災シ

システムのビジネスに従事。2004年4月より現職。本会、計測自動制御学会、人工知能学会、ヒューマンインタフェース学会などの会誌・論文誌編集委員を歴任。学術博士。
E-mail:nakatani@is.ritsumeai.ac.jp

中谷 淳

1993年度慶應義塾大学卒業。同年富士通(株)に入社し、アジア・パシフィック向けの海外営業に従事。2002年JETROに出向。2003年CICCシンガポール事務所へ赴任。現在に至る。

長橋 賢児(正会員)

1993年富士通研究所に入社。大規模ソフトウェアのメンテナンス支援技術、企業間商取引に関連した技術開発に従事。2002年より富士通米国研究所に在籍し、RosettaNet、OASISの活動に参加しつつ研究開発を行っている。

難波 誠一

(財)NHKエンジニアリングサービスリサーチセンター専門研究員。1973年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。NHK放送技術研究所で、新放送方式、デジタル放送、放送における情報セキュリティ技術等の研究開発に従事。

西垣 正勝(正会員)

1990年静岡大学工学部卒業。1995年同博士課程修了。学術振興会特別研究員(PD)。静岡大学情報学部助手。講師を経て、現在同助教授。博士(工学)。システムレベルの情報セキュリティに関する研究に従事。

広田 修

玉川大学学術研究所教授。工学博士(東京工業大学)。総務省「量子情報通信研究推進会議」議員。電子情報技術産業協会「量子情報処理デバイス専門委員会」委員長等歴任。

ひろのかずお

1963年大阪外国語大学仏語科卒業。大阪市立大学・慶應義塾大学に学ぶ。日本ユニパック(現日本ユニシス)・CSK・情報技術開発(TDI)を経たが、この間、人工知能・認知科学・インターネット分野で広範囲に活動。現在、(株)プロファイル、イー・カルチャー(株)の顧問、NPO デジタル情報産業振興会(ADI2)理事、NPO・CEO 企画担当。

藤井 哲郎

昭和54年東京大学工学部電子卒業。昭和59年同大学院博士課程修了。工学博士。同年日本電信電話公社入社。以来、信号処理、高品質画像伝送等の研究に従事。現在、NTT未来ねっと研究所第一推進プロジェクト、プロジェクトマネージャ。

松井 充(正会員)

1985年京都大学理学部卒業。1987年同大学院理学研究科数学専攻修士課程修了。同年三菱電機に入社。以来、符号理論・暗号理論の研究開発に従事。現在、三菱電機情報技術総合研究所情報セキュリティ技術部次長。

松尾 和人

昭和63年中央大学理工学部電気工学科博士課程前期修了。同年東洋通信機入社。平成13年中央大学理工学部情報工学科博士後期課程修了。博士(工学)。平成14年同大研究開発機構助教授。平成15年同機構教授。平成16年情報セキュリティ大学院大学教授。

松本 勉(正会員)

横浜国立大学環境情報研究院教授。1986年東京大学大学院博士課程修了。工学博士。1981年より、暗号、耐タンパー技術、バイオメトリクス等の研究教育に従事。国際暗号学会理事。暗号モジュール委員会委員長。
E-mail:tsutomu@mlab.jks.ynu.ac.jp

宮下 豊

平成元年名古屋工業大学工学部電気情報工学科卒業。同年名古屋鉄道(株)入社。平成11年中部国際空港(株)出向。

盛合 志帆

(株)ソニー・コンピュータエンタテインメントリサーチサイエンティスト。1993年京都大学工学部卒業。2003年博士(工学)。専門は共通鍵暗号の設計と解析。電子情報通信学会、IACR 各会員。

山岸 篤弘(正会員)

現在、(独)情報処理推進機構セキュリティセンター暗号グループ非常勤研究員、三菱電機(株)情報技術総合研究所情報セキュリティ技術部専任。1980年横浜国立大学大学院修了。同年日本電気(株)入社。1983年三菱電機(株)入社。暗号技術の実装および評価手法に関する研究開発に従事。電子情報通信学会、情報理論とその応用学会、日本セキュリティマネージメント学会各会員。平成14年度業績賞受賞。
E-mail:a-yamagi@ipa.go.jp

山本 文治

1969年横浜市生まれ。1990年大学にてthe Internetを使用し始める。1993年にForUsを設立する。1995年に早稲田大学第二文学部西洋文化専修を卒業。同年(株)アイアイジェイメディアコミュニケーションズに入社。以降、同社技術部に主にストリーミング業務に従事する。

湯浅 敬(正会員)

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。現在Hewlett-Packard Laboratoriesにてマルチメディア会議システムの研究に従事。

会員サービスのご案内

会員の皆様の特典としてご利用いただける各種サービスをご案内いたします(本会 Web ページ: <http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/service-ta.html> 参照)。会員特典等にご意見ご要望等がございましたら事務局会員サービス部門(E-mail:mem@ipsj.or.jp)までお寄せください。

◆ ホテル (5 ~ 30%割引)

サンルートホテル、チサンホテル、ホテル法華クラブ、ワシントンホテル、JR ホテルグループ、東急ホテルズ、プリンスホテル、第一ホテルチェーン、JR 東日本ホテルチェーン、ガーデンホテルズ、三井観光グループ/ホテル、全日空ホテルズ、都ホテルズ & リゾーツ、ホテル京急グループ、ダイワロイヤルホテルズ、エイチアールエヌ、ウィクリーマンション東京

◆ 研修・宿泊施設 社会経済生産性本部 IPC 生産性国際交流センター

◆ UC 丸善アカデミックカード (10%割引)

◆ コンピュータソフト パーシティウェブ (教育機関所属の方はアカデミック価格で)

◆ レンタカー (35 ~ 48%割引)

ニッポンレンタカー、日産レンタカー、マツダレンタカー

◆ パック旅行 (3 ~ 5%割引)

ジェイティービー、日本旅行、近畿日本ツーリスト、東急観光、京王観光、ジャルパックサービス、エンターティメントエクスプレス

平成 16 年度山下記念研究賞表彰（概要）

詳細は学会 Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/>) をご覧ください。

山下記念研究賞は、これまでは研究賞として本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られていたものですが、故山下英男先生のご遺族から学会にご寄贈いただいた資金を活用するため、平成 6 年度から研究賞を充実させ、山下記念研究賞としたものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会の会員で、年齢制限はありません。本賞の選考は、表彰規程、山下記念研究賞受賞候補者選定手続および山下記念研究賞推薦内規に基づき、各領域委員会が選定委員会となって行います。本年度は表彰対象の 14 研究会の主査から推薦された計 19 編の優れた論文に対し、慎重な審議を行い、決定されたうえで、第 499 回理事会（平成 16 年 7 月）および調査研究運営委員会に報告されたものです。本年度の受賞者は下記 19 君で、それぞれ研究発表会、またはシンポジウムにおいて表彰状、賞牌、賞金が授与されます。

[コンピュータサイエンス領域]

- **SNP および臨床データベースを対象としたハプロタイプ解析による知識発見システムの実現方式**
[2002-DBS-128 (2002.7.19)] (データベースシステム研究会)
吉田尚史君 (正会員)
- **データストリーム処理のための効率良い XPath 問合せ機構**
[2003-DBS-131 (2003.7.17)] (データベースシステム研究会)
森川裕章君 (正会員)
- **静的解析に基づく侵入検知システムの最適化**
[コンピュータシステムシンポジウム (2003.12.11)] (システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会)
阿部洋丈君 (正会員)
- **UML を用いたシステムレベル設計手法の提案**
[DA シンポジウム 2002 (2002.7.22)] (システム LSI 設計技術研究会)
朱 強君 (正会員)
- **CMOS 論理ゲートにおけるセル内特性ばらつきを考慮した統計的遅延モデル化手法**
[2002-SLDM-107 (2002.11.28)] (システム LSI 設計技術研究会)
岡田健一君 (正会員)
- **地球シミュレータ上のハイブリッドプログラミングの性能評価**
[2002-HPC-90 (2002.5.27)] (ハイパフォーマンスコンピューティング研究会)
板倉憲一君 (正会員)
- **VLAN を用いた複数パスを持つ L2 Ethernet ネットワーク**
[2003-HPC-96 (2003.10.16)] (ハイパフォーマンスコンピューティング研究会)
工藤知宏君 (正会員)
- **双対制限された列挙問題：離散分布に対する交差不等式とその応用**
[2003-AL-92 (2003.11.7)] (アルゴリズム研究会)
牧野和久君 (正会員)

[情報環境領域]

- **近傍関係を活用した情報検索**
[2003-HI-104 (2003.7.11)] (ヒューマンインタフェース研究会)
増井俊之君 (正会員)
- **阪神・淡路大震災の経験を基にしたリスク対応型地域空間情報システムの開発**
[2003-IS-86 (2003.11.19)] (情報システムと社会環境研究会)
畑山満則君 (正会員)
- **素性論理に基づく XML 文書ルール記述言語 DRDL**
[2004-FI-74 (2004.3.26)] (情報学基礎研究会)
今村 誠君 (正会員)
- **大学におけるインシデント対応の一事例**
[2003-DSM-30 (2003.9.26)] (分散システム/インターネット運用技術研究会)
鳩野逸生君 (正会員)
- **変換結果スキーマ指向の XML 変換**
[2003-DD-39 (2003.5.23)] (デジタル・ドキュメント研究会)
鬼塚 真君 (正会員)
- **PKI での証明書失効に必要な通信量の確率論的評価**
[2003-CSEC-22 (2003.7.18)] (コンピュータセキュリティ研究会)
田中直樹君 (正会員)
- **一方向性ハッシュ関数を用いた階層構造を持つアクセス制御方式**
[コンピュータセキュリティシンポジウム 2003(CSS2003) (2003.10.30)] (コンピュータセキュリティ研究会)
須賀祐治君 (正会員)
- **デフォルメマップ生成のための道路変形モデルとそのシステム評価**
[2003-ITS-12 (2003.3.7)] (高度交通システム研究会)
丸山貴志子君 (正会員)

[フロンティア領域]

- **パラ言語の理解能力を有する対話ロボット**
[2003-SLP-48 (2003.10.17)] (音声言語情報処理研究会)
藤江真也君 (正会員)
- **ユーザモデルを導入したバス運行情報案内システムの実験的評価**
[2003-SLP-47 (2003.7.19)] (音声言語情報処理研究会)
駒谷和範君 (正会員)
- **コンテンツ流通ビジネスのモデル化と評価に関する検討**
[2004-EIP-23 (2004.3.8)] (電子化知的財産・社会基盤研究会)
関亜紀子君 (学生会員)

先日、新デザインの紙幣が発行された。本誌が発行される頃にはもう新札が手元に回ってきているだろうか。使用される肖像が五千円札は新渡戸稲造さんから樋口一葉さんに、千円札は夏目漱石さんから野口英世さんに代わる。子供の頃はお札と言えば聖徳太子と明治の政治家だった。実際手にする機会も少なかったが、その人たちの存在もかなり遠かった。最近の肖像は名前もよく知る人たちで、特に夏目漱石さんや樋口一葉さんはどちらも好きな小説家だ。お金の価値と小説の評価はあまり関係ないようにも思えるが、千円札と五千円札、ランクをつけられたようで複雑な気持ちだ。才能を文壇では認められたものの貧窮のまま24歳の生涯を閉じた一葉さんがお金の肖像に採用されたのも皮肉な感じがする。とは言えこれを機会に多くの人に注目されるのであればうれしい。

樋口一葉の名と「たけくらべ」、「にぎりえ」という小説の題名は知っていても、どれだけの人がその小説を読んでいるだろうか。私も中学の頃「たけくらべ」を読んでみたが、文語体の文章が難しく5.6ページで断念した。数年前本郷の古本屋で文庫本を買い、初めて最後まで読んだ時に言葉の美しさと簡潔さに驚いた。また内容も人物が多彩で

の小説も生き生きと書かれていた。時代背景が漱石さんの初期の頃書かれた作品と10年と変わらないのに、まったく違って感じられるのも興味深い（漱石 1867～1916、一葉 1872～1896）。

事務局本部の近くにあるお茶の水橋（JR お茶の水駅からすぐ）が完成した2日後の晩に、近くに住む一葉さんは妹と2人で橋を見にきた（現在の橋は後年架け替えられたもの）。その時の日記の一部を引用する。

行々て橋のほとりに出ぬ。するが台のいとひきくみゆるもをかし。月遠しろく水を照らして行かふ舟の火かげもをかし。金波銀波こもごもよせて、くだけはまどかなるかげいとをかし。森はさかさまにかげをうかべて水の上に斗一村の雲かかれるもよし、薄霧立まよひて遠方はいとほのかなるに電気のともし火かすかにみゆるもをかし。いざまからんいざまからんと斗いひてかくもはなれ難きぞいとわりなき。

当時の写真を見ると今とまったく違う景色でも、文章になると不思議と重なるところがあり、見慣れた神田川も違って見えるような気がする。

（細田直子／管理部門）

■ 各種問合せ先 ■

（社）情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	edit@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌（トランザクション）
■ 事業部門			
事業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム
国際	intl@ipsj.or.jp		国際会議、IFIP 委員会
■ 管理部門			
総務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図書	tosh@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、8月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、8月号の特集「無線LAN技術を利用したインターネットの構築」に対しましては、多くのご感想とご意見をいただきました。

■大変面白かった記事でした。急速に普及している無線LANは、さまざまな利用方法が考えられ、それとともに技術発展が行われる非常にパワーがある領域だと感じました。(菅原宏之)

■大変興味深く拝見させていただきました。現在は、必ずしも使いやすいとは言えません。もっと手軽に利用できるようになることを期待しております。(匿名希望)

■無線LANは日常的に使っているのに、ブラックボックスでよしとしてその動作原理についてはほとんど興味を持たないできた。今回の特集は、そういう素人にはなかなか面白いものであった。できれば、UWBなどの新しい技術が与える無線情報通信へのインパクトについての記事、無線LANが社会活動に与える影響についての記事が各1本加わると、よりいっそう興味を発展させることができたとする。(山崎竹視)

■超高速無線アクセスは、さまざまな利用可能性が考えられており、もちろんそれに対応するコンテンツ充実も伴わなければならないので簡単には今思い描かれているものがすぐに実現されるとは限りませんが、これからの進展が非常に楽しみです。高速無線アクセスできる環境が実現した場合、使い始めた人からその良さが分かって、また、一度使い始めるとその環境が手放せない存在となるのではないかという気がします。(片山聡一郎)

■光ファイバなどの基幹的なインフラがほぼ整備され、ブロードバンドの家庭普及率も進んでいる。ユビキタスなネット社会の前提段階として、無線LANや携帯電話によるインターネット利用が進んでおり、個人的には最近携帯電話に関心が向かっていたが、久しぶりに無線LANの技術動向をまとめて読めて良かった。IP無線電話も一般的に使われはじめ、携帯電話との技術関連も含めて、再度、特集をして欲しい。(匿名希望)

■無線LANの安全性やセキュリティには強い関心があり、特に端末間の暗号化方式の部分は興味を持って読ませていただいた。WEP方式は総当たり攻撃で解読が可能との話もあり、暗号の高度化による対応が今後望まれるところだと思う。一例としてAES方式が挙げられているが、ぜひ今後の動向に注目したい。(匿名希望)

■特集2.1「無線LAN各規格の概要とプロトコル」は、IEEEの無線LAN規格を知ることができ、大変役に立った。筆者らが最後に書いているように、互換性の問題が生じないような対策をぜひとっていただきたい。(匿名希望)

■特集2.3「無線LANの実利用環境における性能」は、実利用のさまざまな生活環境で測定していて、非常に重要な研究であると思った。これらの研究成果はユーザが商品を選ぶ際に、役に立つので広く一般に公開するべきだと思った。(匿名希望)

■特集2.3「無線LANの実利用環境における性能」は、身近な例で興味を感じました。(清水 光)

■規格・技術に関する話題はどうしても「WXYZがどうした」といった略語が多くなるためか読むのに苦労するのですが、「無線LANの実利用環境における性能」は身近に使っている技術が対象だったためか面白く読ませていただきました。素人の私から見たら、とうの昔に実験済みであろうと思っていたことが、最新の話題であったことを知ることでもでき、大変有益でした。(増原英彦)

会議レポート「Winny事件を契機に情報処理技術の発展と社会的利益について考えるワークショップ」につきましては、以下をはじめ、多くのご感想・ご意見をいただきました。掲載できなかった分につきましては学会Webサイトに掲載してあります。

■情報処理学会と情報ネットワーク法学会両方の会員です。レポートにもあるように倫理と法は、別次元の問題です。しかしながら、「倫理・法・単なる感情論」の三者が入り混じった、いわば交差点にWinny問題の本質があり、交差点を解きほぐす作業が必要です。理工学部の学生と日常的に接する限り、法的思考様式(リーガル・マインド)を持っている学生はほとんどおらず、法的思考様式を涵養する授業を心がけています。しかし、法という「難しい暗記物」というイメージを持っている学生がほとんどのように思われます。(水野光朗)

コラム「日本のIT事情：忘れたいこと忘れてはいけないこと」には、次のようなご感想をいただきました。

■朝永博士の言葉を引きながらその技術分野に身に置くものとしての社会的責任等についての問いかけがとても印象に残りました。個々の研究者が直接的にかかわる断片的情報技術のみでは、その陰の側面の想像が困難であることも多いかと思いますが、であればこそ、その社会的影響について、全体観に立って絶えず意識していくことが重要であると思いました。(匿名希望)

■考えさせられる記事であった。特に原子物理学者が「平和」「不戦」への開眼を世に問うたことと対比して、情報科学技術の分野では、との問いかけは見過ぎてよいものかどうか。あらゆる技術が等身大の「ホモサピエンス」を置き去りにしているような今日の状況を俯瞰する時、「なんのため」という問いかけが、ますます必要となるのでは。(雪野 清)

コラム「20世紀の名著名論」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■「Algorithms + Data Structures = Programs」は、私が大学院生の時に勉強した本でしたので、非常に懐かしかったです。当時は、アセンブラやFortranが主流でしたので、この本に書かれていたアルゴリズムやデータ構造が新鮮で美しく感激したことを思い出しました(同時に先生の顔も思い出してしまいました…)。(匿名希望)

■改訂による書物の章の構成の変化から時代の変化を見るという切り口によって、プログラミングの流行についてとても鮮やかに説明がなされていて、非常に分かりやすかったです。(片山聡一郎)

■研究ではないのですが、文字列操作について興味があるので参考になりました。自然言語からのプログラムソースコードへの変換をするのが、今の私の趣味/話題になっています。言語処理系の考え方はハードウェア・ソフトウェアのどちらの設計にも活かせると考えています。(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■今月号(8月号)から開始された連載「Webサービス」に対して、非常に興味を持った。(亀井靖高)

■「プログラム・プロムナード」は毎回、問題に対してどのようにすれば効率良く解が見つけれられるかを考えるのが頭の体操にちょうどよくて楽しませていただいています。また、徐々に効率化されていく過程がとても参考になります。(片山聡一郎)

■Bookmarkletを使ってWWWブラウザをカスタマイズする方法、役に立ちました。(匿名希望)

■Bookmarkletを初めて知りました。こんなに便利なツールがあったのですね。使ってみたいと思いました。(匿名希望)

■コラム「アメリカITまわりの話題」について、ただの検索エンジンとして使っていたGoogleに、とても興味を持ってました。今後のGoogleの展開が楽しみに思えます。(田中 光)

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にさせていただきます。

■本文に書いてあるプログラム等がWebページに掲載されていたら便利だと考えました。(田中 光)

■コンピュータウイルスについて。(雪野 清)

■IEEE以外の無線LAN規格についても取り上げてほしい。(匿名希望)

■経済産業省が来年度に予算申請しているソフトウェア・エンジニアリング・センター構想に関する特集を組んでいただきたい。(亀井靖高)

■ヒューマンインタフェースや認知科学など人間というものを対象とした研究について、現在どこまで研究がなされていて、どのような課題があるのかということを取り上げて欲しいです。(片山聡一郎)

会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webサイトでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声を寄せください。

【本欄担当 大城正典, 田中貴秋/書評・ニュース分野】

ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>>
でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax:(03)3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4511.html>

皆様からいただいた会誌へのご意見は下記 Web ページにも掲載しております。
<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> (読者からの声)



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「システム LSI の設計技術と設計自動化」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/sldm.html	11月15日(月)		
	論文誌「多様な社会的責任を担うコンピュータセキュリティ技術」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/csec.html	11月26日(金)		
	平成16年度業績賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/gyoseki/h16boshu.html	12月10日(金)		
11月16日(火) ~	第16回コンピュータシステム・シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ComSys2004.html	7月23日(金)		機械振興会館
11月17日(水)	北陸支部講演会「高度交通情報システム (ITS) の現状と将来」 開催案内 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html		どなたでも 入場いただけます	富山国際大学 大講義棟 I
11月17日(水)	第90回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/IS90.html	9月10日(金)	当日のみ	静岡大学情報学部
11月20日(土)	第77回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CE77.html		当日のみ	金沢学院大学
11月25日(木) ~	データベースと Web 情報システムに関するシンポジウム (DBWeb2004) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DBWeb2004.html	9月9日(木)		日本科学未来館
11月26日(金)	第77回情報学基礎研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/FI77.html	9月10日(金)	当日のみ	筑波大学 筑波キャンパス
11月26日(金)	東海支部講演会「自動車の普及と共に発展し情報社会に 貢献する道路情報板~昭和から平成へ、そして21世紀の 最新研究~」開催案内 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html		参加無料 (資格は問いません)	名城大学 天白キャンパス
11月26日(金)	第47回デジタル・ドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DD47.html	9月21日(火)	当日のみ	学術総合センター
11月26日(金) ~	第117回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CG117.html	9月22日(水)	当日のみ	早稲田大学 (北九州キャンパス)
11月27日(土)	第146回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/SE146.html	9月27日(月)	当日のみ	東洋大学 白山キャンパス
12月1日(水) ~	第152回計算機アーキテクチャ研究発表会 (デザインガイア2004) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ARC152.html		当日のみ	北九州国際会議場
12月1日(水) ~	第12回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-DPSWS.html	8月16日(月)	11月1日(月)	ホテル海望 (石川県 七尾市和倉温泉)
12月1日(水) ~	第117回システム LSI 設計技術研究発表会 (デザインガイア2004) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/SLDM117.html	9月13日(月)	当日のみ	北九州国際会議場
12月2日(木) ~	第138回知能と複雑系研究発表会 http://www.ar.sanken.osaka-u.ac.jp/activemining/amvtwksconf.html		当日のみ	ハノイ工科大学 (ベトナム)
12月4日(土)	第26回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/EIP26.html	10月22日(金)	当日のみ	武蔵工業大学 横浜キャンパス
12月9日(木) ~	分散システム/インターネット運用技術シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-DSM2004.html	9月6日(月)	定員になり次第	広島市まちづくり 市民交流プラザ
12月10日(金)	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2004」 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CH2004.html	9月13日(月)		立命館大学
12月9日(木) ~	第47回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.tom.comm.waseda.ac.jp/~avm/society47.html	10月15日(金)	当日のみ	北海道大学/ 名古屋大学 他
12月10日(金)	第58回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/MUS58.html		当日のみ	九州大学 大橋キャンパス
12月12日(日)	連続セミナー 2004 第6回「ICタグ」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2004/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス
12月17日(金)	第100回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/HPC100.html	10月22日(金)	当日のみ	ホテル東京 KKR 竹橋
12月20日(月)	第27回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CSEC27.html	10月20日(水)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
12月20日(月)	第52回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/MPS52.html	10月29日(金)	当日のみ	電気通信大学
2005年				
	平成16年度研究開発奨励賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/researcher/h16boshu.html	1月20日(木)		
	論文誌「量子計算と量子情報」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/si03.html	1月31日(金)		
1月11日(火) ~	第46回プログラミング・シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/prosym/			ウエルシティ湯河原
1月13日(木) ~	ハイパフォーマンスコンピューティングと 計算科学シンポジウム (HPCS2005) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-HPCS2005.html	9月30日(木)		東京大学 山上会館
1月20日(木) ~	第135回データベースシステム・第10回放送コンピューティング 研究グループ 合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DBS135BCC10.html	11月15日(月)	当日のみ	遠鉄ホテルエンパイア
1月20日(木) ~	2005年情報学シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/FI2005.html	9月27日(月)		日本学術会議講堂
1月21日(金)	第147回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CVIM147.html	10月31日(日)	当日のみ	京都大学
1月20日(木) ~	第52回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/PRO52.html	11月20日(土)	当日のみ	NTT 厚木研究開発 センタ
1月21日(金)	第153回計算機アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ARC153.html	11月15日(月)	当日のみ	共済会館八汐荘 (那覇市)

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
1月31日(月)～ 2月4日(金)	SAINT2005 2005年インターネット応用国際会議 http://www.saint2005.org	7月1日(木)		イタリア(トレント)
3月2日(水)～ 3月4日(金)	第67回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/67kai/index.html	11月26日(金)		電気通信大学
3月14日(月)～ 3月16日(水)	第139回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ICS139.html	1月14日(金)	当日のみ	北海道 定山溪ビューホテル
3月18日(金)	第36回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DSM36.html	12月17日(金)	当日のみ	東京農工大学
4月4日(月)～ 4月6日(水)	The 7th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2005) http://isads05.swjtu.edu.cn/index.htm	9月15日(水)		Chengdu, China
5月30日(月)～ 6月1日(水)	20th IFIP International Information Security Conference (SEC2005)	11月15日(月)		幕張メッセ
9月7日(水)～ 9月9日(金)	FIT2005 第4回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2005/index.html			中央大学 後楽園キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[学会からのお知らせ]

- 10月1日 平成17年度代表会員候補者募集
- 10月1日 平成16年度業績賞・研究開発奨励賞 候補者募集
- 9月24日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました

人材募集 (有料会告)



有
料
会
告

申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へ E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000 円 (税込)
賛助会員 (企業) 31,500 円 ()
賛助会員以外の企業 52,500 円 ()

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*人材募集広告は会誌と同時にオーム社発行月刊誌「コンピュータ&ネットワーク LAN」にも掲載されます (料金の追加はありません)。ただしオーム社側の掲載については字数などの関係から大幅に編集されることをご了承ください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■会津大学

募集人員 (a)助教授 1名 (CS04004) (b)助教授または講師 1名 (CS04003)
所 属 (a)分散並行処理学講座 (b)コンピュータグラフィクス学講座
応募資格 (a) Ph.D. degree in Computer Science, Computer Engineering, or a closely related area; ability to teach courses and give research advice at graduate level in advanced programming technologies and distributed multimedia systems; expertise particularly sought in Java-based tools, visual languages and self-explanatory software components, high-performance and grid computing, human-computer interactions and adaptive interfaces; system administrator's skills; and strong interest in collaboration with industry.
(b) Ph.D. degree in Computer Science, Computer Engineering, or a closely related area; research experience in Computer Graphics, CAD, Visualization or Virtual Reality; and strong research credentials as evidenced by scholarly publications.
着任時期 平成 17 年 4 月 1 日
応募締切 平成 16 年 11 月 30 日 (必着)
照会先 (a) E-mail:cs04004@u-aizu.ac.jp (b) E-mail:cs04003@u-aizu.ac.jp
その他 詳細は <http://www.u-aizu.ac.jp/labs/oprn/Position/DCS.html> 参照

■湘南工科大学工学部情報工学科

募集人員 教授 1名
専門分野 情報理論、応用数学、計算機アーキテクチャ、並列・分散システムなどの分野
担当科目 線形代数、微分積分学、確率統計学、情報数学、計算機構成論、オペレーティングシステム、ソフトウェア工学など
応募資格 博士の学位を有し、学部教育に関心のある方。大学院指導もできることが望ましい。年齢は 55 歳以下が望ましい
着任時期 平成 17 年 4 月 1 日
提出書類 履歴書、研究業績リスト (論文、国際会議論文、著書などに分類)、主要論文別刷 (5 編)、今後の教育・研究についての抱負 (A4 用紙 1 枚程度)、推薦書または本人の業績などをよく知っている方 2 名の氏名・所属・連絡先
応募締切 平成 16 年 11 月 30 日
送付先 〒251-8511 神奈川県藤沢市辻堂西海岸 1-1-25 事務局 事務局長 難波洋雄 *「情報工学科 教員応募書類」と朱書き書留
照会先 事務局 事務局長 難波洋雄 E-mail:namba@center.shonan-it.ac.jp Tel(0466)30-0252 Fax(0466)35-2055
工学部 情報工学科長代行 後藤宣之 E-mail:goto@info.shonan-it.ac.jp Tel(0466)30-0208

■名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科

募集人員 教授または助教授 1名
専門分野 「生体情報基礎」(生体情報に関連する「分散処理系」、「コンピュータアーキテクチャ」など)または「生体分子構造機能相関」(生体分子に関連する「分子シミュレーション」、「計算科学」など)
応募資格 博士の学位を有し、博士前期・後期課程学生の特別研究指導および大学院における情報科学、計算機科学の講義の一部、ならびに全学分担の教養講義 (数学)の一部の担当が可能な方
着任時期 平成 17 年 4 月 1 日
提出書類 履歴書、研究業績目録 (国際学会および国内の学会発表を含む)、主要論文別刷 (5 編)、科研費など研究助成の取得状況 (代表、分担を明記)、これまでの研究概要と今後の研究の抱負 (各 1000 字以内)、大学院生指導・教育に対する考え (1000 字以内)、教養教育に対する考え (400 字以内)、問合せ可能な方 2 名の氏名および連絡先
応募締切 平成 16 年 11 月 30 日 (必着)
送付先/照会先 〒467-8501 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑 1 名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科 福本 理
E-mail:fukumoto@nsc.nagoya-cu.ac.jp Tel(052)872-5864 「教員応募」と朱書き配達記録
その他 名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科については <http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/> を参考にしてください

■山形大学工学部情報科学科

募集人員 助教授 1名
 専門分野 情報通信(情報ネットワーク, マルチメディア), コンピュータ基礎(ソフトウェア工学, ハードウェア設計など), コンピュータ応用(数値シミュレーション, CGなど)のいずれかの分野
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院の研究指導ができる方. 40歳以下が望ましい
 着任時期 平成17年4月1日以前のなるべく早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(5編以内, コピー可), 研究・教育活動概要, 教育・研究に対する抱負, 所見をいただける2名の推薦状または氏名と連絡先
 応募締切 平成16年11月30日
 送付先 〒992-8510山形県米沢市城南4-3-16 山形大学工学部情報科学科 学科長 小林邦勝 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 照会先 情報科学科情報メディア講座 後藤源助
 E-mail:gengoto@yz.yamagata-u.ac.jp Tel(0238)26-3275 Fax(0238)26-3299
 その他 詳細は<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/>参照(TOPページ/お知らせ「教官公募」をクリック)

■呉工業高等専門学校電気情報工学科

募集人員 教授 1名
 専門分野 情報工学全般
 応募資格 博士の学位を有し, 高専教育に熱意のある方. 年齢が40歳から52歳の方が望ましい
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書, 著書・論文一覧など, 主要な著書・論文の別刷(コピー可)および概要, 研究成果および教育実績(1000字程度)ならびに着任後の教育・研究に対する抱負(1000字程度), 推薦書(所定様式を<http://www.kure-nct.ac.jp>よりダウンロードする)
 応募締切 平成16年12月6日(必着)
 送付先 〒737-8506広島県呉市阿賀南2-2-11 呉工業高等専門学校 庶務課人事係 Tel(0823)73-8405
 郵送の場合は「電気情報工学科教員応募」と朱書き簡易書留
 照会先 電気情報工学科主任 教授 植田義文 E-mail:ueda@kure-nct.ac.jp Tel(0823)73-8470 Fax(0823)73-8474

■福岡工業大学情報工学部情報システム工学科

募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 ロボティクスに関連したシステム制御(産業応用・遠隔操作ロボット, 医療福祉ロボット, 人工知能, などの分野のロボットの研究を含む)実験系の研究, 開発を行っている方
 担当科目 基礎ロボット工学, 知能ロボット工学, 情報処理工学実験
 応募資格 専門分野の研究業績があり, 博士の学位を有する方または着任までに取得見込みの方, 大学院の担当が可能の方. 45歳以下の方で, 教育歴のあることが望ましい
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書(学歴, 職歴, 学会および社会における活動など, 別途FDなどで提出のこと), 研究業績リスト(査読付論文とその他の論文を区別のこと), 主要論文別刷(5編程度), これまでの研究概要と今後の研究計画および教育に対する抱負(JABEE認定を含む, 1000字程度)
 応募締切 平成16年12月10日(必着)
 送付先 〒811-0295福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 重松 亮
 Tel(092)606-0647(ダイヤルイン) Fax(092)606-7310 「情報システム工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 照会先 情報システム工学科 学科長 鶴岡 久
 E-mail:uruoka@fit.ac.jp Tel(092)606-4993(ダイヤルイン) Fax(092)606-0754

■電気通信大学大学院情報システム学研究所

募集人員 教授 1名
 専門分野 ソフトウェア工学, 大規模ソフトウェア, システムソフトウェアなど
 担当科目 情報システム設計学専攻ソフトウェア生産管理学講座
 応募資格 博士の学位を有する方, 着任時の年齢55歳未満
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 参考意見を伺える方の氏名・連絡先など
 応募締切 平成16年12月15日(必着)
 照会先 〒182-8585東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報システム学研究所 教授 弓場敏嗣
 E-mail:yuba@is.uec.ac.jp Tel(0424)43-5640
 その他 <http://www.is.uec.ac.jp/>の教員公募情報を参照のこと

■法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科

募集人員 教授または助教授 1名
 専門分野 情報工学
 担当科目 Java, オペレーティングシステム, データベースなど
 応募資格 博士の学位を有し, 専門職大学院での講義・演習を指導できる方。大規模なアプリケーションプログラムの開発経験があるほうが望ましい
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書(教育歴の記述を含む), 研究業績リスト, 主要論文別刷, 本人について問合せのできる方2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成16年12月20日(必着)
 送付先/照会先 〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1 法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科
 副研究科長 大森健児 E-mail:ohmori@k.hosei.ac.jp Fax(03)5228-1451 「教員応募書類」と朱書き書留
 *応募書類は返却しません。

■豊橋技術科学大学工学部情報工学系

募集人員 助手 1名
 専門分野 計算機科学における, アルゴリズムの設計/解析, 離散最適化, 計算量理論などの分野
 応募資格 博士の学位を有する, もしくは着任時頃には学位取得の見込みである方
 着任時期 平成17年4月1日以降
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(著書, 原著論文, 総説・解説論文, 国際会議論文, 特許などに区別して記載), 主要論文別刷, 研究・教育活動概要, 今後の教育・研究の抱負(各1000字程度以内), 応募者について所見を伺える方(2名まで)の氏名・所属・連絡先
 応募締切 平成16年12月24日(必着)
 送付先 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学工学部情報工学系 系長 田所嘉昭
 照会先 情報工学系計算機工学講座 藤戸敏弘 E-mail:fujito@ics.tut.ac.jp Tel(0532)44-6775 Fax(0532)44-6757
 その他 詳細は, JREC-IN (<http://jrecin.jst.go.jp/>)の求人公募情報を参照のこと

■富山大学工学部知能情報工学科

募集人員 教授 1名
 所属 知能システム工学講座
 専門分野 画像情報処理, 感性情報処理, 自然言語処理
 担当科目 学部および大学院の講義(画像情報処理, 記号処理, 線形代数など)のほか, 教養教育関係科目の講義
 応募資格 博士の学位を有すること, 大学院博士後期課程の研究指導を担当できること
 着任時期 平成17年4月1日(予定)
 提出書類 履歴書(学歴, 職歴, 学会および社会における活動など), 研究業績リスト(査読のある学会論文誌や学術雑誌に掲載または掲載決定済の論文, 国際会議での発表または発表決定済の論文, その他の論文, 著書, 特許などに分類し, 著者名を記載すること), 主要論文別刷(5編程度, コピー可), これまでの研究の概要/今後の研究計画ならびに教育に対する抱負(A4用紙2~3枚程度), 当方より応募者についてご意見を伺える方2名のお名前とご連絡先
 応募締切 平成17年1月14日(必着)
 送付先/照会先 〒930-8555 富山県富山市五福3190 富山大学工学部知能情報工学科 学科長 唐 政
 E-mail: tang@iis.toyama-u.ac.jp Tel(076)445-6752 「教員応募書類」と朱書き(簡易)書留
 その他 お問合せにはできるだけ, E-mailをお使いください
 選考の段階で面接を実施する場合があります。その際の旅費などは, ご自身で負担願います
 必要に応じて, 別途資料を提出していただくことがあります
 給与などに関する問合せ先: 国立大学法人富山大学総務部人事労務課任用係 Tel(076)445-6017

■佐世保工業高等専門学校電気工学科

募集人員 助手 1名
 専門分野 情報通信, 情報処理または計算機工学
 担当科目 電気・電子・情報工学実験など
 応募資格 年齢30歳未満(平成17年4月1日時点), 博士取得者または博士取得予定の方, 工業高等専門学校の教育・研究・学生指導に理解と熱意のある方, 課外(クラブ)活動の担当のできる方
 着任時期 平成17年4月1日
 応募締切 平成17年1月21日
 送付先 〒857-1193 長崎県佐世保市沖新町1番1号 佐世保工業高等専門学校 庶務課人事係
 照会先 電気工学科長 大塚正雄 E-mail:ohtsuka@post.cc.sasebo.ac.jp Tel/Fax(0956)34-8468
 その他 提出書類など詳しくはwebページをご覧ください。 <http://www.sasebo.ac.jp/~elec/>

■広島大学大学院工学研究科情報工学専攻

募集人員	(a)教授 1名 (b)助教授 1名 (c)助教授 1名
所 属	(a) コンピュータ・システム工学講座(コンピュータ・アーキテクチャ学教育科目) (b) 知識情報工学講座(知的システムモデリング教育科目) (c) 知識情報工学講座(データベース工学教育科目)
専門分野	(a) コンピュータ・システム, ネットワーク・アーキテクチャ (b) 画像工学, 可視化情報処理, パーチャルリアリティ (c) 人間の知的活動を活性化するソフトウェアシステムに関する研究分野. インタラクティブシステム, 知識工学, マルチメディア応用を含む
着任時期	平成17年10月1日
提出書類	履歴書, 研究業績リスト(論文, 著書, 特許など), 研究論文概要, など
応募締切	平成17年3月31日(必着)
照 会 先	大学院工学研究科情報工学専攻 (a) 教授 渡邊敏正 E-mail:watanabe@infonets.hiroshima-u.ac.jp (b) 教授 金田和文 E-mail:kin@hiroshima-u.ac.jp (c) 教授 平嶋 宗 E-mail:tsukasa@isl.hiroshima-u.ac.jp
そ の 他	詳細は http://www.huis.hiroshima-u.ac.jp/ 参照

■(独) 産業技術総合研究所

募集人員	研究戦略アナリスト
募集分野	(1) ライフサイエンス分野における研究動向および産業, 社会ニーズに関する調査研究・分析 (2) 情報処理・ソフトウェア技術分野における研究動向および産業, 社会ニーズに関する調査研究・分析 (3) 環境・エネルギー技術分野における研究動向および産業, 社会ニーズに関する調査研究・分析 (4) 地域・中小企業振興に関する調査研究・分析 (5) 上記各分野に関する経済分析・統計解析などの手法による調査研究・分析
応募資格	大学卒業以上で企業などにおける経験年数10年以上を有し, 日本国内における日本語での聞き取り調査および報告書などでの調査・分析が可能な方
照 会 先	技術情報部門 総括主幹 藤田 E-mail:tid-geneaff@m.aist.go.jp Tel(029)862-6121
そ の 他	任期なし. 詳細は http://www.aist.go.jp/index_j.html 参照 産業技術総合研究所技術情報部門では, 国内外の技術動向, 政策動向, 産業動向などについて継続的に情報収集し, 産総研における研究戦略策定および国の政策や産業界に対する提言の基礎となる調査研究, 分析を行うため, 一定の技術分野ごとに, 専門の知識と実務経験があり, かつ洞察力と分析力のある研究者を募集します

■東京工科大学メディア学部

募集人員	教授または助教授 2名
専門分野	(1) コンピュータグラフィックス(デザイン・アート系) 1名 (2) ビデオ構成・制作(デジタルシネマ・テレビ系) 1名
担当科目	卒業, 演習は担当していただき, 大学院の研究指導, その他授業科目は相談の上, 担当いただきます
応募資格	博士の学位を有するか, それに相当する見識を有する方. 着任年度の4月1日現在で原則60歳以下. 望ましい人物像は, 該当分野で優れた業績がある方, 教育歴が豊かな方あるいは教育に熱心な方, 新しい分野へ積極的に挑戦する方, IT(情報技術)の活用に意欲的な方, 将来の大学・大学院改革に強い関心と意欲があり積極的に協力する方, 学生の卒業後の進路(就職・大学院進学)指導を適切に行う方, 大学院担当教員としてふさわしい方
着任時期	原則として平成17年4月1日(ただし, 採用予定候補者の都合により平成19年4月1日を限度に着任を延期することがある)
提出書類	履歴書, 業績リスト, 主要論文・業績の内容を示すもの
応募締切	平成16年12月20日(必着)
送付先/照会先	〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 東京工科大学人事委員会事務局 業務課 大和圭介 E-mail:yamato@so.teu.ac.jp Tel(0426)37-2111(代表)(ext.2021)
そ の 他	詳細は http://www.teu.ac.jp/10/000616.html 参照

ご意見をお寄せください！

【12月10日頃までにお出してください】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4511.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mailで送信される場合は、10-1-aのようにコードでお答えください)

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 9-
10. 今月号 (2004年11月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a…大変参考になった b…よい c…普通, どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

特集：電子社会を推進する暗号技術

数論アルゴリズムと公開鍵暗号の安全性.....	10-1-
代数曲線上の公開鍵暗号.....	10-2-
共通鍵暗号の発展.....	10-3-
暗号ハードウェア実装性能と安全性評価.....	10-4-
鍵生成と鍵管理.....	10-5-
暗号プロトコルの基礎数理.....	10-6-
個人識別と暗号技術.....	10-7-
評価体制と標準化の内外動向.....	10-8-
量子暗号の最新動向.....	10-9-
インターネット・無線 LAN・放送における暗号化技術.....	10-10-
電子政府・自治体と暗号技術.....	10-11-
電子ビジネスと暗号技術.....	10-12-
著作権・個人情報保護と暗号技術.....	10-13-
デジタルシネマの標準化とその最新動向.....	10-14-
大規模災害に対する減災情報システム (前編).....	10-15-
地域社会と IT：中部国際空港の IT 技術.....	10-16-
Web サービス：Web サービスの方法論.....	10-17-
プログラム・ブロードキャスト：点の密集区域.....	10-18-
インターネット生活向上委員会：Online Meeting.....	10-19-
20 世紀の名著名論：Joseph E. Stoy：Denotational Semantic：The Scott-Strachey Approach to Programming Language Theory.....	10-20-
20 世紀の名著名論：Edsger W. Dijkstra：Goto Statements Considered Harmful.....	10-21-
アジア IT 事情：インドにおける IT 事情.....	10-22-
アメリカ IT まわりの話題：ソーシャルネットワーキングの将来.....	10-23-
日本の IT 事情：珈琲っ子の IT.....	10-24-
情報技術と教育：温故創新.....	10-25-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。

12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマ、また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。

暗号ほど誤解されやすい技術はない。高名な評論家や情報セキュリティのオピニオンリーダーをはじめ、情報工学・コンピュータの大家までが、「暗号は破られるものと思って使え」と平気で仰せになる。「そんなに簡単に破られたら、サイバーパスポートともなる公的個人認証付住民基本台帳カードはどうなるのですか」と問い返したい。IT社会における人、物、金、文書等、あらゆるモノの真偽の峻別が公開鍵暗号の安全性にかかっているだけに、我々は平文1024ビットのうち1ビットも洩れないことが理論的に証明されたものでなければ、電子政府の利用に供する暗号にリストアップしないようにしているのである。さりとて絶対安全ですと胸を張れな

いところが悩ましいのだが、これはNP ≠ P? やゲーデルの不完全性定理にも関係する深い問題である。不完全性定理をハイゼンベルクは「人間の知性の限界」と言ったが、私は神の摂理とでも呼びたい気分である。いずれにしても安全性をはじめとして、暗号が電子社会を支えている現代の状況の概観を本特集によってお伝えできれば幸いである。終わりに筆者の多忙さから、いろいろとご迷惑をおかけしたにもかかわらず、難しい内容をよくまとめていただいた執筆者の皆様に深く感謝する。

(辻井重男/本特集ゲストエディタ)

次号 (12月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」天文学をサポートする情報新技術

Virtual Observatory / 天の川 simulator / 4次元デジタル宇宙 / VLBI / JASMINE / Adaptive Optics / 主鏡面の制御技術 / 望遠鏡の無人運転

解説

Web プログラミング・フレームワーク 下村隆夫 他
大規模災害に対する減災情報システム (後編) 仲谷善雄

連載 Web サービス/プログラム・プロムナード

コラム アジア IT 事情 / アメリカ IT まわりの話題 / インターネット生活向上委員会 / 情報技術と教育 / 20世紀の名著名論 / 日本の IT 事情

会員募集中!!

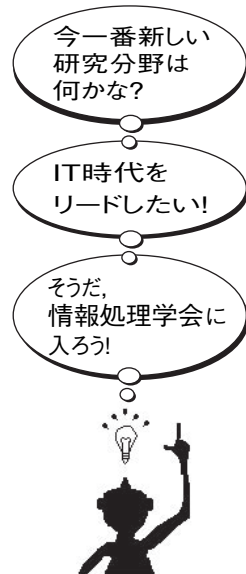
ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、
あなたのお役に立ちます。

詳しくはWebサイト <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

申込/照会先 社団法人 情報処理学会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



複写される方に

〔R〕<学術著作権協会依頼>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記の In the USA に記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright by clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo

107-0052, Japan

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744

<http://www.copyright.com>

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 [※]	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ
お名前

勤務先

所属部署

所在地

(〒 -)

TEL ()

-

FAX ()

-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-16-13

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A4 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A4 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。